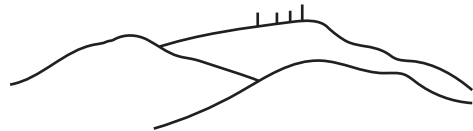


# Youth Manna

2018/10/29-11/4



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2018/10/29(月)

1 コリント 15:50-58

どんな人も絶対に勝てない罪と死にイエス様は十字架の死と復活を通して完全に勝利し、イエス様を信じる私達を勝利者としてくれたんだね！(57)それだけでなく終わりの日には、私達イエス様を信じる者もラッパの音と共に復活し、新しい神の国を受け継ぐ体にされるとあるね。私達はこの地上においても勝利者とされ、また体が死んだ後も復活して今度は罪の無い状態ですっとイエス様と神の国を生きる恵が与えられるんだ。神様は私達が日々主のみわざに励む信仰生活をも用いて神の国の完成へと導いて下さるよ！

今日勝利者として、神様が望んでいることを学校や家庭の中でやってみよう！！

2018/10/30(火)

1 コリント 16:1-12

パウロはこのコリントの手紙で愛による主の教会の一致について、ずっと語ってきたよ。その目的に沿ってパウロは飢饉や迫害で経済的に困っていたエルサレムの教会へ、具体的な愛を献金によって表すように勧めたんだ。直接会ったことの無い教会を愛して苦難を共し、祈ることは、神様から受けた恵に答えて神様のビジョンに生きる素晴らしいことだね。パウロは人に愛を表すこと勧めてばかりではなく、自分もコリントの教会に行こうとしてることもやテモテをその前に送ることを伝え、心を配って愛を表しているよ。今日神様がきみに愛を表して欲しいと願っている人は誰だろう？祈って行動しよう！！

2018/10/31(水)

1 コリント 16:13-24

パウロは、手紙を閉じるに当たり最後にもう一度、彼らに勧めのことばを送っている。コリントの人々が偶像の町コリントで神に召されたキリスト者として生きていくうえで大切な五つの命令が記されている。①目を覚ましていなさい。②強く信仰に立ちなさい。③男らしくありなさい。④強くありなさい。⑤いっさいのことを愛をもって行いなさい。

そして、最後にコリント教会に関わってきた人々、アジヤの諸教会を挙げ、彼らもコリント教会のために祈り支えてくれていることを語られた。パウロは主を愛し、主の御思いに答える教会であるよう勧め、祈りをもってこの手紙を閉じる。**祈**主よ、パウロの命令に従いあなたの御心を行うことができるように助けてください！

2018/11/1(木)

箴言 13章

どのようにしたら、知恵ある者になれるのだろうか。まず知恵ある者は、親の忠告に耳を傾けるが、愚かな者は、あざけりこれを退ける(1, 10節)。知恵ある者は、良く考えて語り、軽率に口を開かない(3, 4節)。また知恵ある者は、高ぶらない。自分が何でもかんでも知っているとは思わない。むしろすべて利口な者は知識によって行動し(16節)とあるように、知恵ある者は、自分の考えを検証しながら行動する。そしてその基準は間違いなく聖書である。

聖書のことばをさげすむことは、身を滅ぼすことにもなる(13節)。私たちは聖書から神様の思いを知ることができ、その上で基準をこの世に合わせないだろうか？必要なら悔い改めて、神様の基準に立てるよう祈ろう！！

2018/11/2(金)

箴言 14:1-19

この箇所では色々な言葉が並べられています。その多くが外見と内面との違いによって引き起こされる結果です。今誰にも見せたくないと思っている自分の内面はないだろうか？もしあるならばそこが弱点となります！

私達の周りには沢山の霊的な誘惑があります。それらの事から身を守り、固く立つ為には、キリストの愛によって癒される必要があります！本当は辛いけど自分は大丈夫だと言い聞かせて我慢した事はありませんか？もし自分以外に知られたくないと思っている事があるならば、その事を知っている神様に祈って聞いてみよう！教会、セルはキリストの愛を知る人が集まる場所です！恐れず内面を分かち合えるように祈ろう！

2018/11/3(土)

箴言 14:20-35

良いこと、悪いことがとても具体的に交互に書かれているね。昨日は心の誠実さについてが多かったけど、今日は実際にこの世での過ごし方について詳しく記されている。

心から神様をおそれ、誠実だと、自然と行動にもそれが現れる。私たちの姿は、そうであるかな？

主を恐れることはいのちの泉となる。主を恐れるっていうのは、主を愛して従うってこと。神様が語ってくださっていることを、聖書や祈り、礼拝のメッセージから真剣に受け取っていきよう！

2018/11/4(日)

箴言 15:1-15

私たちは生活する上で怒ります。神様は怒ることを禁じているのでしょうか？そんなことはありません。クリスチャンだからといっていつもこやかで怒らないというのは間違いです。聖書では怒っても罪を犯してはならないと書かれています。

私たちは怒るとき、その怒りは自己正義のうちから出たものなのか、神様の義に反する怒りなのか吟味する時間が必要です。怒ることを神様に委ねて、場合によっては怒ったり、柔らかい答えを出したり、柔軟な反応ができるように成長していきましょう！